

令和8年度第1回岡山市認知症疾患医療センター研修会

事例演習「事例を通して臨床像を描く」

岡山市認知症疾患医療センターでは、地域で生活する認知症の方を支援する医師会の先生方や地域の関係機関の方々と協力して、認知症の方の支援のスムーズな連携につなげることができるようになればと考えております。

1. 目的 事例を通して対象者の臨床像を描き、適切な支援を行う。
2. 日時 令和8年8月6日（木）13：30～15：30（受付13：00～）
3. 会場 岡山赤十字病院 南館1階研修室（岡山市北区青江2-1-1）
4. 対象者 岡山市医師会会員及びスタッフ、居宅介護支援事業所、岡山市地域包括支援センター職員等
5. 内容
事例提供
「BPSDは家族によって引き起こされる～お互いに影響し合う夫婦の事例～」
岡山赤十字病院 公認心理師 東郷 和美
グループワークと発表（その時の事情によって変更の可能性あり）
総評 岡山市認知症疾患医療センター センター長 中島 誠
閉会

※本研修会は、日本医師会認定生涯教育講座として1.0単位を申請しています。

【カリキュラムコード：12 地域医療 15 臨床問題解決のプロセス】

6. 問合せ先 参加希望の方はQRコードでお申し込みください。

問い合わせ先：岡山市認知症疾患医療センター
岡山赤十字病院（岡山市北区青江2-1-1）
TEL086-222-8843（直）
申込期限：令和8年7月30日（木）



※感染症対策のため中止(延期)になる場合があります。ご了承ください。

《主催：岡山市認知症疾患医療センター》
《共催：岡山市地域包括支援センター》